



研究会・研修会等への  
報告者・講師の派遣  
(平成27年10月～12月)

講演 竹林 孝

(当研究所・特別顧問)

○「平成27年度「新規就農優良農

業経営者表彰式」

主催 公益財団法人北海道農

業公社

とき 平成27年11月18日

テーマ 選考経過について

講演 黒澤 不二男

(当研究所・顧問所長)

地域の活性化

講演 竹林 孝

(当研究所・特別顧問)

○「第23回大阪府J A大会」

主催 大阪府J A中央会

とき 平成27年12月2日

テーマ これからの大阪府J A

のあり方

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「第26回佐賀県J A大会」

主催 佐賀県J A中央会

とき 平成27年12月3日

テーマ 農協改革をふまえたJ

A自己改革のあり方

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「バイオマスセミナーin当別  
J Aの活用を考える」

主催 当別町バイオマス地域

循環創造勉強会

とき 平成27年12月22日

テーマ 廃棄物を利用した農業

の取り組みについて

講演 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「開発研究所特別講義」

主催 北海道大学

とき 平成27年10月1日

テーマ 北海道の歴史ー司馬遼

太郎の北海道論

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「第26回福岡県J A大会」

主催 福岡県J A中央会

とき 平成27年11月19日

テーマ 農協改革をふまえたJ

A自己改革を考える

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「日本土壤肥料学会北海道支部  
秋季大会」

主催 日本土壤肥料学会

とき 平成27年12月2日

テーマ テンサイのカリウム施

肥及び栽植密度の変動

が収量・品質に及ぼす

影響の場所間差と土壌

分析値との関連につい

て

講演 鷹田 秀一

(当研究所・研究次長)

○「農村集落問題第10回研究班会

議」

主催 北海道地域農業研究所

とき 平成27年11月9日

テーマ 人口減少時代に農業・

農村の活性化

○「長沼町議会・長沼町農業委員

会合同研修会」

主催 長沼町議会・長沼町農

業委員会

とき 平成27年11月25日

テーマ 人口減少時代に農業と

## 編集後記

●平成二七年度の農業総合研修会は、物流をテーマに実施した。どの業界も人手不足が深刻化している。これまで、輸送手段や技術の革新により、スピードアップ・省力化が進められてきたが、現状維持すら厳しくなりつつあるようだ。担い手が好循環するような環境・風土の革新が求められる。安心してくださいます。と引き続き言ってもらいたい。

●昨年は、農業界にとって激動の年であった。六〇年ぶりの農協法の改正、そしてTPP交渉の大筋合意である。目的や進むべき姿、影響を自隠しのまま、物事を進めるのはいかなもの

## DATA FILE

### 関連事項／DATA

株式会社日通総合研究所  
〒105-8322  
東京都港区東新橋1丁目9番3号  
☎ 03 (6251) 6446  
Fax 03 (6251) 6450

北海道土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット北海道)  
〒060-0005  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
☎ 011 (221) 2292  
Fax 011 (221) 2258

札幌大谷大学  
〒065-8567  
札幌市東区北6条東9丁目1番1号  
☎ 011 (742) 1651 (代)

江別市役所  
〒067-8674  
江別市高砂町6番地  
☎ 011 (381) 1025  
Fax 011 (381) 1072

一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒060-0806  
札幌市北区北6条西1丁目4番地2  
ファーストプラザビル7階  
☎ 011 (757) 0022  
Fax 011 (757) 3111  
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>  
E-mail: [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)

か。年末恒例の一年を表す漢字は「安」であった。国民のイメージは決して安らかを意図したものでなく、軽々しい、安っぽいの方であるう。

●明けて今年夏は夏季五輪の年だ。ブラジルのリオを目指し続々と出場者も選考されている。ラグビーは、ワールドカップの興奮

冷めやらす、七人制の新種目で男女そろって出場だ。四年後の東京につながるよう大いなる成果(聖火)を期待したい。

●テレビドラマは不遇の時代と言われてきたが、NHKの連ドラや、下町ロケットは高視聴率だ。男性上位の明治初期に女性が男勝りに奮闘する姿や、町工

場である小が大に挑み逆襲を果す展開は、閉塞感ある現在、スカツとさわやかな気分となる。一億総活躍などというスローガンもあるようだ、何かひとつでも仕事や実生活で胸のすくような出来事がある年になってもらいたいのものだ。

(片岡 省二)